

9月16日：各指数は軟調な推移

金曜日の株式市場は後場にかけて強まった売り圧力がマーケットの重しとなり小幅安で終わった。

ホーチミン市場ではVN指数が-0.93%の1,234.03ポイントとなり、269銘柄の下落、74銘柄の上昇と弱気な相場が続いた。一方で流動性は急激に高まり、出来高は+48.8%の14.5兆ドン（6億1,440万ドル）であった。

主要30銘柄で構成されるVN30指数は-0.8%の1,252.78ポイントで終えた。採用銘柄の中で7銘柄のみが上昇を記録し、22銘柄が下落した。

ハノイ市場のHNX指数も同様に下落し、-2.43%の272.88ポイントであった。日中1.6兆ドン相当の8,170万株がこの市場では取引された。

このマーケット全体の下落は強い売り圧力が影響した。

金融情報ウェブサイトの統計によると、ホアファットグループ（HPG）が2.6%の下落でマーケットの下げを先行した。

銀行、製造、不動産、IT、小売などの人気セクターの主要銘柄も売り圧力にさらされ、ベトナムラバーグループ（GVR）、ベトインバンク（CTG）、ベトコムバンク（VCB）、モバイルワールド（MWG）、ビンググループ（VIC）、マサングループ（MSN）、FPTグループ（FPT）が-0.9%を記録し週を終えた。

サイゴンハノイ証券のアナリストは「ホーチミン市場のベンチマークであるVN指数は直近の下値支持線である1,240ポイントの上で推移し続けている。ポジティブな側面としては製造業セクターへの需要が増加していることであり、建設、電気、水関連銘柄もこれに含まれる。」と述べている。

外国人投資家は両市場で売り越し、ホーチミンでは4,226.1億ドン、ハノイ市場では861.1億ドンの計5,087.2億ドンの売り越し額となった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。